

学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
美術	美術1	1	2	「美術1」 酒井 忠康 他26名（光村）	
指導の重点	・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 ・与えられた課題に向かって努力し、主体的に行動に移せる能力と精神を養う。 ・様々な道具の使い方や技法、美術史や郷土作家などについて学習し、制作活動に生かせる知識を養う。				
評価の観点	知識・技能	材料や用具の特性を活かして表現方法を工夫して制作できたか。 対象をよく観察、またはイメージ化し、造形的な視点を養うことができたか。			
	思考・判断・表現	制作意図に応じて創意工夫し、よりよい方法・作品になるようにを模索したか。			
	主体的に学習に取り組む態度	美術の意義、美術作品のよさや美しさを理解し、心豊かな生活や社会を創造する態度を身につけられたか。			
学習の評価	・自分の思いや考えが表現できるよう構想を練り、形態や色彩を創意工夫することができたか。 また作品鑑賞では、自分の感じた事を文章などで表現することができたか。				
学期	単元		学習内容		学習の目標
1 学期	オリエンテーション		・1年間の学習の取り組みについて理解する。		・鉛筆についての理解を深めることができる。 ・正しくモチーフの形を捉えることができ濃淡により立体的に表現することができる。 ・視覚から得た情報を正確に捉えることができ、混色をすることで複雑な色合いで表現することができる。 ・油絵の具の特長、色の性質を理解し効果的に生かすことができ、遠近法などを意識して描いている。 ・豊かな発想力でデザインし、計画を元に表現することができる。
	絵画 鉛筆デッサン 「基礎立体」「手」		・モチーフをしっかりと観察することを意識し、集中して描く。 ・モチーフの形体や色、質感などの特徴を捉えて描く。 ・光の方向を意識して陰影をつけたり、形に添ってハッチングすることによって形態を立体的に表す。		
	絵画 油彩画 「風景画」F 6号		・油絵の具の基本的な使い方を学習する。 ・遠近法を理解し奥行きのある構図を考える。 ・色彩について学習する。 ・重色、混色について学習する。 ・描いた作品の造形的な美しさを感じ取る。		
	講評会		・他者の作品から良い部分を学習し今後に役立つ想像力を養う。		
	デザイン 「模様のデザイン」		・日本や諸外国の模様に関心を持つ。 ・動植物やものの形や色の特徴などから主題を生成する。 ・形や色を工夫し、繰り返ししたときの構成を意識して表す。		
2 学期	鑑賞 「作家の生涯と作品」 葛飾北斎		・北斎の生涯と作品に関心を持つ。 ・浮世絵版画や絵手本、肉筆画などの江戸の文化に触れ、表現の豊かさを感じ取る。		・形や色、材料などが感情にもたらす効果を感じ取ることができる。 ・感じ取ったことを、言葉で表現し、他者と共有しようとしている。 ・自己の考えや夢から、創造性豊かに発想することができる。 ・自己を客観的に捉え、表現することができる。 ・材料や用具の使い方や特徴を理解し効果的に生かすことができ、動感や質感等を意識して表現している。
	彫刻 立体造形 「空想の靴（自己表現）」		・自己の内面を見つめ、主体的に主題を生成し、色彩や形体などの構想を練る。 ・材料やポーズ、形などを意識して、動感や質感を工夫して、思いを表現する。 ・材料や用具の使い方や特徴について理解し、計画的に作業を進める。		
	講評会		・他者の作品から良い部分を学習し今後に役立つ想像力を養う。		
	工芸 「切絵」		・世界各地の工芸について関心を持つ。 ・切絵ならではの表現を取り入れながら、形や色を工夫する。 ・カッターを使った細密表現を正確かつ安全に行う方法を学ぶ。		・素材の特徴と道具の使い方等を正しく理解し、効率的に制作することができる。 ・作品全体のバランスを考え、美しさと見やすさを兼ね備えた作品制作をすることができる。 ・素材の特徴と道具の使い方等を正しく理解し、独創性豊かな作品を効率的に制作することができる。
	デザイン 「おのまとペモビール」		・色や形、モビールの動きが感情にもたらす効果を考え、文字やモビールのデザインを行う。		
	講評会		・他者の作品から良い部分を学習し今後に役立つ想像力を養う。		